

J E S C OにおけるP D C Aサイクル

高圧トランス・コンデンサ処理量の目標管理

J E S C Oにおいては、毎年度トランス・コンデンサの処理目標を設定し、これに基づき施設の操業計画、廃棄物の搬入計画を作成し処理事業を進めている。目標達成のため、処理の進捗状況について、日次、週次、月次等でチェックし、差異の原因を分析し、操業計画、搬入計画の見直しを行い、目標の達成に努めている。

・計画

前年度実績のレビュー、問題点への対応、処理能力の改善等を検討し、これらの効果を見込んで、トランス・コンデンサ種別毎に各事業所の年間処理台数の目標を設定、年間計画の策定を行う。

・実施（処理）

各事業所においては、年間計画を基に月次、週次、日次の詳細な処理計画を作成する。あわせて、広域協議会等で決まった重点搬入計画等を基に中小企業などの少量保管事業者と大企業などの多量保管者との調整を行いながら、具体的な搬入計画や処理契約を確保するための営業計画を作成し、処理を行っていく。

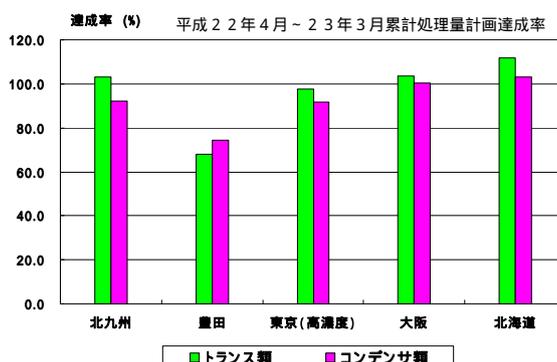
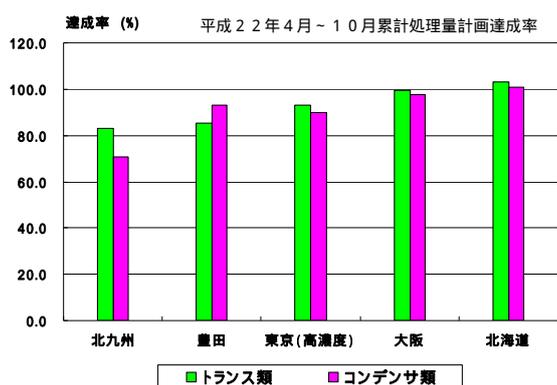


・評価（進捗状況）

各事業所においては、運転会社とともに、朝会・夕会等による日々の進捗管理をはじめ、週毎や月毎の定例会等において、進捗状況の把握、計画に対する差異分析等を行い、その結果を本社に対して週報、月次報告、四半期報告等により報告。

本社においては、これらの報告を基に処理の進捗状況を評価し、より詳細な差異原因の分析等を行う。

進捗状況の把握例



・改善（アクションプラン）

各事業所においては、進捗状況に応じ、逐次、操業計画、搬入計画等の調整を行い、目標の達成を図っている。全社的には、四半期毎に、対計画差異原因を踏まえ、数量目標・対策（アクションプラン）を作成し、実施する。アクションプランの策定に当たっては、所長会議等において、本社幹部、各事業所長が横断的な検討を行う。

環境マネジメントシステムによる継続的改善について

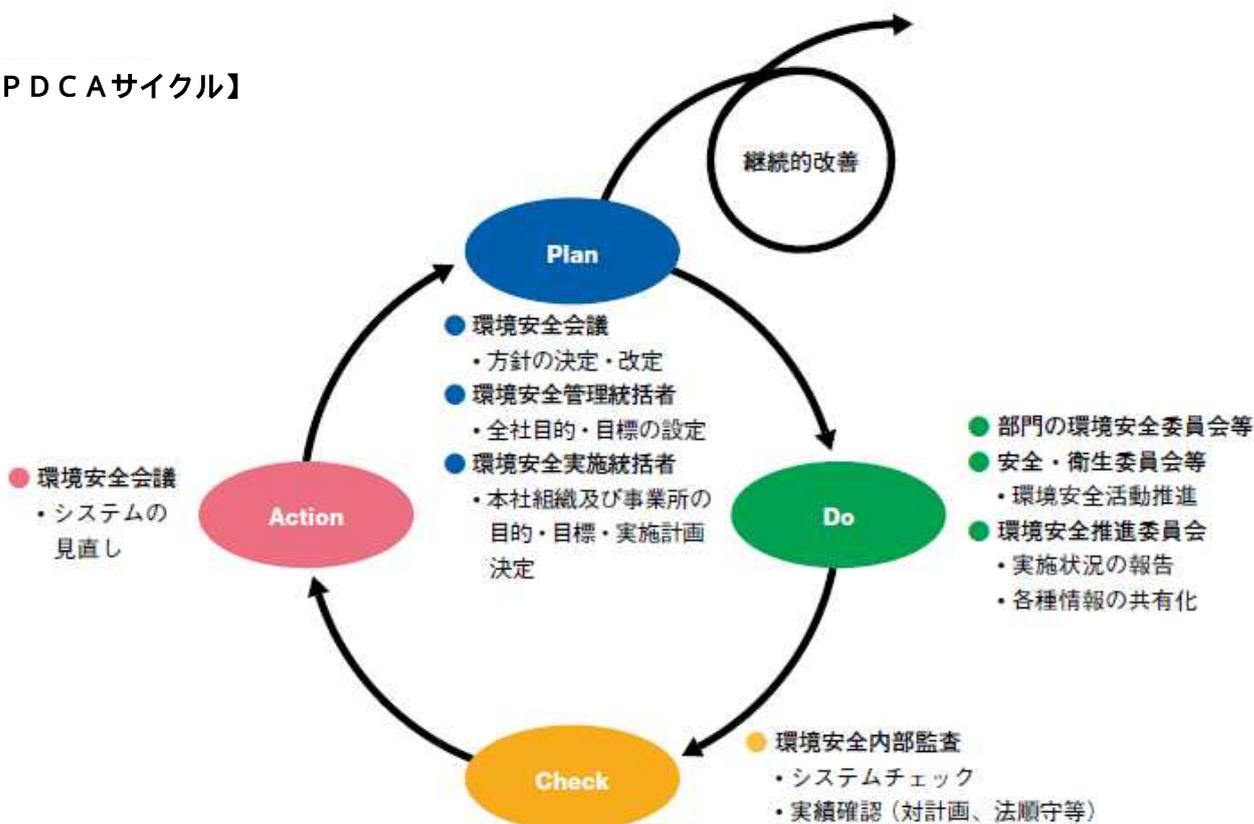
環境安全管理システムの推進

当社の基本理念に基づき、環境安全管理システムの構築・運用と緊急異常事態の防止に対する基本的な考え方及び方向を明確にし、当社従業員及び運転会社の従業員の環境安全管理活動に対する意識の高揚を促す理念として「環境安全方針」を掲げ、その達成を目指して中期の「環境安全目的」を作成し、環境安全管理システムの運用・向上に努めています。

環境安全活動を効率的に推進するために、全社の環境安全活動はトップマネジメントが任命する環境安全管理統括者を中心とし、事業所の環境安全活動は事業所長が中心となり運転会社を含めた各事業所全体で、それぞれにマネジメントシステムの活動を推進しています。

環境安全活動は、年度ごとの環境安全目標及び実施計画に従って実施し、環境安全会議・環境安全推進委員会等における活動実績の定期的な確認・評価や、本社と各事業所間の情報交換等により、PDCA サイクル (PLAN - DO - CHECK - ACTION) を通じた環境安全活動の継続的改善を図っています。

【PDCAサイクル】

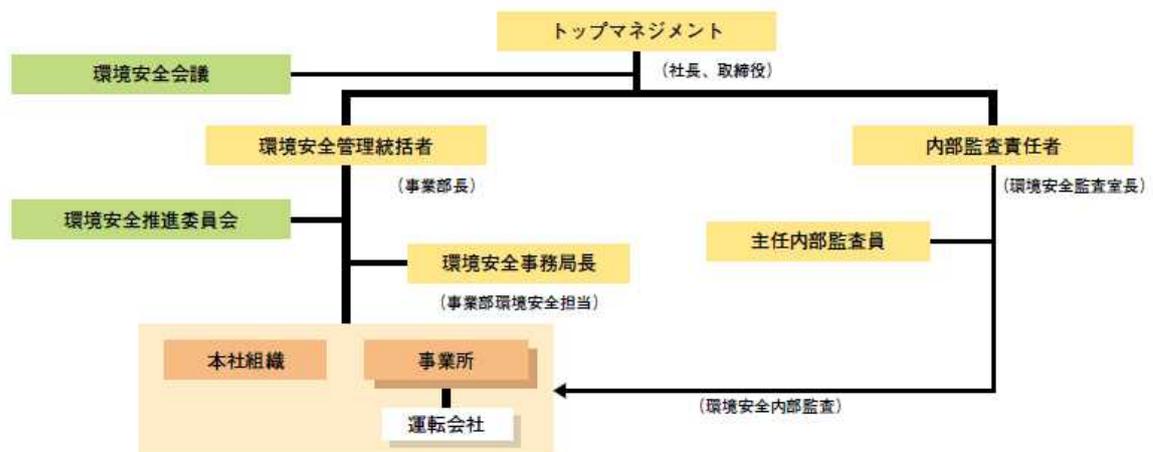


全社ISO14001認証取得の活動

JESCOの5事業所では、平成22年度末までにそれぞれで認証取得が完了しました。単独認証取得の各事業所に本社組織を加えた全社の統一システムの活動を平成23年度から本格実施し、全社統合認証取得を目指しています。(平成24年2月には全社統合認証を取得見込み)

全社認証取得後も、全社環境安全目標に基づく環境安全活動をさらに推進するとともに、定期審査・更新審査として第三者の認証審査機関によるチェックを定期的に行うことで、今後も、環境マネジメントシステム及び活動の継続的改善を図っていきます。

【環境安全管理体制】



社内管理体制	議長/委員長	メンバー	役割
環境安全会議	社長	経営幹部会議メンバー 事業所長 他	<ul style="list-style-type: none"> 環境安全管理システムの見直し 環境安全方針の決定又は改定等
環境安全推進委員会	環境安全管理統括者	環境安全管理推進者 (部又は事業所の推進者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境安全目的・目標等の審議、意見具申 環境安全活動情報の報告、連絡等
部門の環境安全委員会等 (本社、各事業所)	環境安全実施統括者 (本社事業部長、各所長)	環境管理責任者 部署責任者他	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境安全目的・目標等の審議 部門の環境安全活動情報の報告、連絡等

【環境安全目的】

項目	全社環境安全目的
全般	PCB 特別措置法に規定する処理期限の順守 ISO14001 認証取得達成 社会とのコミュニケーションの促進
環境保全	重大環境汚染事故災害ゼロ達成 有害化学物質の排出量の抑制 省資源・リサイクルの推進 地球温暖化対策の推進 グリーン調達の推進
労働安全衛生	重大労働災害ゼロ達成

内部技術評価による継続的改善について

内部技術評価

処理施設の健全性及び運転・操業の確実性の確保と、これらの維持向上を図ることを目的として、全事業所を対象に年1回操業状況を評価。

評価員は、本社と評価を受ける事業所以外の事業所で構成。

〔技術評価の内容〕

- (1) 操業関係： 処理実績、 操業稼働状況、 操業管理体制（運転管理、設備管理、作業管理等）
- (2) 品質関係： 処理性能、 環境保全性能
- (3) 安全衛生関係： 作業環境性能、 安全衛生管理体制
- (4) 教育・訓練関係
- (5) 指導事項等に対する対応状況

〔技術評価の成果〕

- (1) 運転・操業の確実性の確保と維持向上による処理実績の向上
- (2) 操業管理、安全衛生管理の向上
- (3) 各事業所のトラブル再発防止対策の水平展開の徹底
- (4) 教育・訓練、改善活動の活発化

[内部技術評価の実施フロー]

